



(7) 小田原急行鐵道江ノ島支線長後變電所、建坪100坪、混凝土建500K.W.回轉變流機3臺
内常用2臺、豫備1臺。(廣橋組施工)

東京電燈會社より供給を受け既設伊勢原變電所に於て2萬「ヴォルト」にて受電し、同所より既設座間變電所を経て新設長後變電所迄同電壓にて送電す。座間變電所及長後變電所間には電車線路に添架して送電線に回線を新設す。〔受負者〕大林組、廣橋組、小澤組

【電車の運轉】新宿より片瀬江の島迄直通列

車を運轉し、所要時間急行1時間20分、普通1時間30分にして賃金片道95錢、午前及午後

の「ラッシュアワー」には約30分毎に其他の時刻には約1時間毎に列車を運轉す。
〔材料〕三井物産、三菱電機、横河橋梁、日本信號株式會社

請負工事になる二隧道

①三吳線吳隧道 (三吳線吳口第二工區、吳市阿賀町)

②總延長2K.495(目下工事着手區間1K.775m)
勾配1/180

吳市内の要塞地帯の工事たる事が特長である、湧水は0.6個位、岩質は花崗岩で掘鑿爆破とも順調である、全部簡單なる支保工施行。本隧道には道床コンクリートを使用する豫定

③掘鑿は頂設導坑にて7'×8'の加背、二交代又は三交代にて一交代一發破制とする、進行の割合は1日2.2m²。爆藥消費量導坑2kg/立方m、騾出車は手押しローリー箱型42臺、鑿岩機はインガーツルR72、デンパー7、サリバンD×61其他使用

④現在三原口のみ施行中にて前記の機械設備にて1日3交代進行平均10尺を得つゝ全長の約2/3まで導坑進行し、壘築は約40^{ch}竣工セリ(三月末日)、吳口

は四月すぎ着手豫定

⑤鐵道省岡山建設事務所、工事主任荒井良二郎氏

⑥請負、松本組

⑦昭和2年11月着手、5年8月竣工豫定

⑧山陽線海田市驛から吳線に乗換へ吳驛下車阿賀町

○作備線才澤隧道 は延長776m、20/1000片勾配にて昭和3年2月15日着手し、新見口は手掘にて導坑の進行232m(4年3月末)、津山口は機械掘にて導坑進行358m(4年3月末)、兩口とも二交代作業にして津山口の機械設備は規模小にして僅かに54馬力のコンプレッサー1臺、鑿岩機は26番ライナーを使用し電力一日の使用量500KWに過ぎ、一日の掘鑿進行も平均1.5m、岩質は綠泥片岩の由、工事は全部森田組の請負にて竣工豫定本年10月14日の由。